

晩冬の候、貴社ますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。

共和ゴムの寺阪です。

1/25(土)に毎年恒例の経営発表会を、スパ&ホテル水春・松井山手店にて、8時~17時まで開催いたしました。昨年度の決算報告(共和ゴムだけでなく、関連子会社も含む)にはじまり、昨年度の取り組み内容についての結果報告、各部門の目標ならびに実績発表、そして今年度の各部門・個人の目標、取り組み内容などを発表してもらいました。おかげさまで昨年度はほぼ計画通りで決算を終えることができました。各部門の取り組み内容の結果発表についても、良かった点も悪かった点も当然ありましたが、良かった点が多く、悪かった点に関しても理由がはっきりと分かっており、対策がちゃんと出来ており、総じて良かったと思います。経営発表会後は、参加者全員で新年会を行い、2次会まで大いに盛り上がりました。今年もみんなで力を合わせて今年も良い一年間にしたいと思っております。



代表取締役 寺阪 剛
Takeshi Terasaka

話は変わりますが、3年ほど前には、社員のほとんどが40代以上で、20代の社員が一人も居ないという危機的状況でした…この数年間で若手社員の採用を積極的に行った結果、今では20代の社員が8名も居てくれます。大変ありがたいことです。また今月から更に2名増えます。一番多い社員は依然40代のままですが、2番目に多いのが20代社員という構図となりました。若手社員への教育訓練も引き続きしっかりと取り組んでいく所存です。

今年も何卒宜しくお願い致します。



経営発表会

経営発表会のあとは新年会でした!



<http://www.kyowa-r.com/>

KYOWA
RUBBER
NEWS
LETTER

共和ゴムニュースレター 第50号
2020年2月発行

ニュースレターのバックナンバーは
弊社ホームページでご覧いただけます。

共和ゴム株式会社

本社

〒573-0102 大阪府枚方市長尾家具町3丁目4番地3
Tel. 072-855-1039 / Fax. 072-855-1090

東日本営業所

〒103-0027 東京都中央区日本橋2-15-3日本橋HYビル4F
Tel. 03-5255-5133 / Fax. 03-6673-3505

栃木事業所

〒323-0057 栃木県小山市南小林439
TEL:090-3268-1039 FAX:028-333-1169

KYOWA RUBBER NEWS LETTER



2020.2 Vol.50

NEWS

01 枚方市 ふるさと納税返礼品 アクシスフォーマーが2年連続ランキング1位!



2018年4月より、枚方市のふるさと納税返礼品のラインナップに弊社アクシスフォーマーを採用頂いており、のべ出荷本数が1800本を突破いたしました。おかげさまで、2018年、2019年の2年連続で枚方市のふるさと納税返礼品年間ランキングで1位となっております。

特にこの年末年始には予想を超える御注文を頂き、嬉しい悲鳴を上げております。現在、新規受付を一時停止し、生産体制を整え、2月末頃から注文受付を再開する予定でございます。今後とも、よろしくお願い申し上げます。

02 FCティアモ枚方・多田将希選手 退団&当社退職のお知らせ

当社で短時間正社員として働きながら、枚方からJリーグを目指している「FCティアモ枚方」で選手としても活躍していた多田将希選手が、FCティアモ枚方との契約満了に伴い、当社も1/20付けで退職となりました。多田選手は違うチームの入団テストを受け、引き続き「Jリーガー」という夢を追い求めていくとの事。引き続き応援のほう何卒宜しくお願い致します。



Sales Department

皆さま、こんにちわ！久々登場の西日本営業の林 充男です。今回は私が生まれ育った街、また共和ゴム本社がある地元枚方市のお話しをさせていただきます。大阪府枚方市は江戸から京へそして大坂へとつなぐ東海道の宿場町として栄え、淀川沿いは人やモノが行き交う江戸時代の大動脈でした。その枚方宿は京と大坂のちょうど中間点にあり、西国大名や幕府役人などの通行にとまなう人馬継立や休泊などでにぎわいました。淀川水運の中継港でもあった枚方宿は旅籠や煮売家のほか色々な商店が軒を重ねました。淀川を往来する三十石船にこぎ寄せ、乗客に「餅くらわんか、酒くらわんか、銭がないのでようくらわんか」と乱暴な言葉で飲食物を売りつけた煮売り茶舟は「くらわんか舟」とよばれ、当地の名物となりました。そしてその旧枚方宿の景観の向上や安全で円滑な交通確保などを目的として施工された無電柱化の街並み見学会、題して「枚方宿・無電柱化くらわんか見学会」に参加して来ました。



西日本営業部
営業 林 充男

主催は弊社も会員として活動している「NPO電線のない街づくり支援ネットワーク」という全国に各支部を持つ団体の大阪活動委員会の新春特別企画として開催されました。

当日は地元の自治会館（集会場）をお借りして、参加者としてはNPOの会員様、枚方市関係者、まちづくり協議会様、枚方市市議会議員4名様と衆議院議員環境副大臣の佐藤ゆかり議員秘書様らも合わせ40名程の参加で行われました。枚方市からは担当部署担当者様より工事ハード面の説明、当NPO理事長、地元まちづくり協議会会長、当時の土木課の実動担当者からは各住民、地権者様との折衝（合意形成）の苦労話などのたくさんお話しを伺うことが出来ました。また実際に街並みを歩いて施工箇所、トランスの位置、埋設箇所、裏配線施工などを見学しました。



その中でも土木部の実動担当者様の毎日毎日朝から晩まで現場の商店・住居を1軒1軒説明しながら工事への理解を頂くまでのご苦労や、また工事が完成した時の住民の皆様が空を見上げられ

「この街からもこんなに綺麗な青空が見えるんや！」と感激を覚えられたとの一言が凄く印象的でした。

今ではこの京街道枚方宿では毎月第二日曜日に「枚方くらわんか五六市」が開催されて毎回200ブース以上が出店する手づくり市で盛り上がります。こだわりの飲食物やてづくり雑貨が道狭しと並び江戸時代当時の宿場町の賑やかさが蘇り市内外から多くの観光客がご越しになられます。ご興味お有りでしたらぜひひらかたまでお越し下さいませ。

このように電線を地中に埋め、また軒下配線などにして電柱をなくす無電柱化とは地域の活性化、安全性向上、地域住民の一体化、未来の子供たちの夢を膨らませる街づくりに貢献できると思います。これからも弊社は全国で推進される無電柱化工事への各部位でのお手伝い出来るよう頑張ります。無電柱化について何かお困りでしたら何なりとお申し付け下さいませ。

